工種別施工計画書

仮設工事（外部足場）施工計画書

（仮称）〇〇町共同住宅 新築工事

第1版　作成日 2026年11月　提出先：工事監理者

1. 工事概要

工事名	（仮称）〇〇町共同住宅 新築工事（提案例）
構造・規模	RC造 地上4階、軒高 12.8m、延床 約980㎡
対象の工種	外部足場（くさび緊結式）の組立て・盛替え・解体
足場の規模	最高部 14.0m、外周 約128m、設置期間 約5か月（組立てから解体まで60日以上）
工期（足場）	組立て 2027年2月上旬〜／解体 2027年7月上旬（予定）
周辺条件	北側が市道（幅員6m）、東側に隣家（離れ 1.2m）、通学路あり

2. 目次

1. 工事概要	4. 品質管理
2. 施工手順	5. 安全管理
3. 使用材料・機械	6. 施工体制・届出一覧

3. 使用材料・機械

名前	仕様	備考
くさび緊結式足場	支柱・布材・ブラケット 一式	仮設工業会の認定品
鋼製布板	幅 400 / 500	作業床のすき間 3cm 以下
手すり・中さん・幅木	手すり高さ 85cm 以上	中さん 35〜50cm
壁つなぎ	垂直 5m・水平 5.5m 以下	躯体にアンカー
養生シート・朝顔	防炎シート、朝顔 2段	市道側・隣家側
荷揚げ機	簡易リフト	荷揚げ用・人の搭乗は禁止

4. 施工手順

① 敷地の確認・墨出し → ② 敷板・ジャッキベース → ③ 1段目の組立て・水平の確認 → ④ 上段の組立て・壁つなぎ → ⑤ 手すり・幅木・養生 → ⑥ 完成時の点検・引渡し

手順	やること	確かめること
①	図面と現地を照合、障害物・地中埋設物の確認	隣家との離れ、架空線の位置
②	地盤を均し、敷板を敷く	沈下のおそれがある所は補強
③④	1層ずつ組み上げ、壁つなぎを順に取る	支柱の鉛直、布材のくさびの打込み
⑤	手すり・中さん・幅木、シート・朝顔を付ける	開口部・端部の手すり
⑥	点検表で全体を点検し、記録を残す	点検者の氏名と日付

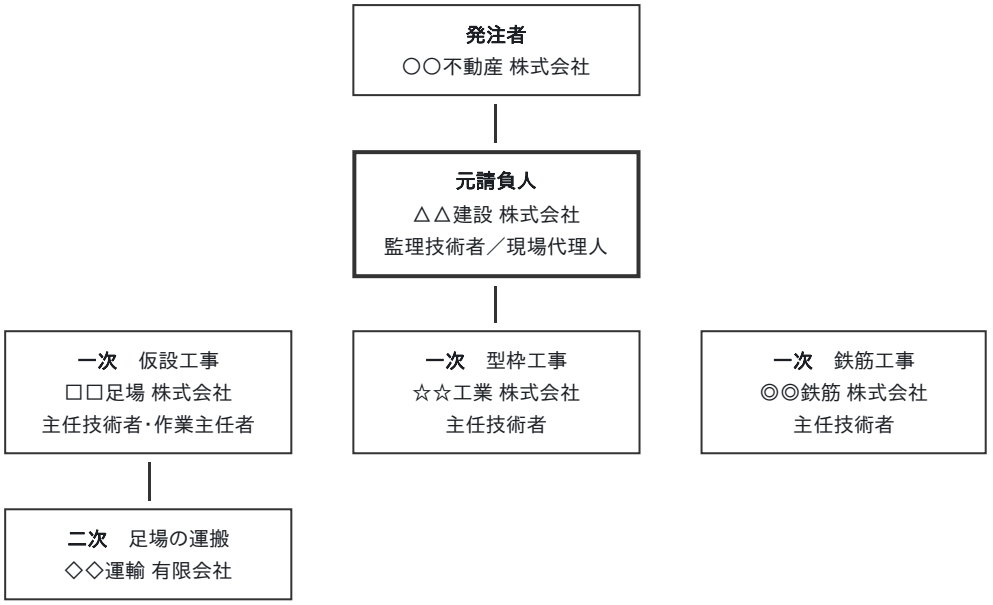
5. 品質管理

管理項目	基準	方法・頻度	記録
支柱の鉛直	1/200 以内（社内基準）	下げ振り、各層	点検表
壁つなぎの間隔	垂直 5m・水平 5.5m 以下	目視・スケール、各層	点検表・写真
作業床	幅 40cm 以上、すき間 3cm 以下	目視、各層	点検表
材料	変形・さびの無いもの	搬入時に全数	受入れ記録

6. 安全管理

項目	内容
作業主任者	足場の組立て等作業主任者を選任し、現場に氏名を掲示する
墜落・転落	手すり（85cm 以上）＋中さん、組立て・解体中はフルハーネス型の墜落制止用器具を使用
落下物	幅木・メッシュシート・朝顔、立入禁止の範囲を表示
点検	作業開始前の点検。強風・大雨・地震の後、組立て・一部解体・変更の後は、指名した者が点検し記録
第三者	市道側に誘導員（搬入時）、通学時間帯は搬入しない
悪天候	10分間の平均風速 10m/s 以上は組立て・解体を中止

7. 施工体系図



※二次以下の会社がある場合は、一次の会社から「再下請負通知書」を出してもらい、施工体制台帳に入れる。

8. 届出の一覧と期限（この工事の場合）

書類	出す先	期限	根拠・条件
機械等設置届（足場）	労働基準監督署	工事開始の30日前まで	労働安全衛生法88条。高さ10m以上で、組立てから解体まで60日以上の足場
道路使用許可申請	警察署	使う前（目安 1〜2週間前）	道路交通法77条。市道に車両・資材を置くとき
特定建設作業実施届	市町村	作業開始の7日前まで	騒音規制法・振動規制法。指定地域で対象の機械を使うとき
施工体制台帳・施工体系図	現場に備え付け・掲示	下請契約の締結後すぐ	建設業法24条の8。下請に出すとき（公共工事は金額によらず）
再下請負通知書	元請負人	再下請の契約後すぐ	建設業法施行規則14条の4

※期限・条件は、提出先の自治体や工事の内容で変わります。実際の工事では、提出先の最新の案内を確かめてから作ります。

9. 書類づくりの流れ（在宅で代行するときの手順）

1 現場から資料を受け取る
図面・工程表・下請の名簿
→ 2 足りない情報を一覧にして質問 → 3 ひな形に入れて下書き → 4 チェック表で自己点検
→ 5 現場の担当者が確認 → 6 直して提出用に仕上げ

10. 提出前のチェック表（例：機械等設置届）

No.	確かめること	見る資料	確認
1	足場の高さ・設置期間が届出の対象に当たるか	工程表・仮設計画図	☐
2	工事開始日から30日前の日付を逆算したか	工程表	☐
3	計画図（平面・立面・断面）に壁つなぎの位置と間隔があるか	仮設計画図	☐
4	使う足場材が認定品で、型式が書類と一致しているか	材料の一覧	☐
5	作業主任者・点検者の氏名と資格が書いてあるか	名簿・資格証の写し	☐
6	会社名・工事名・住所の表記が、ほかの書類とそろっているか	施工体制台帳	☐

11. 図面（CAD）とのつながり

仮設計画図（足場の平面・立面）は CAD で作り、DXF で渡せます。計画書の数値（高さ・壁つなぎの間隔・外周の長さ）は図面から拾い、計画書と図面の食い違いを出さないようにしています。

12. ご相談したいこと

・社内で決まった書式（エクセル・ワード）があれば、それに合わせます。
・提出先ごとの書式の違い（自治体・発注者の指定）を、案件ごとに教えてください。